



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
 コード番号 3104 URL <http://www.fujibo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中野 光雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 和司

TEL 03-3665-7612

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 18,932 | △9.3 | 1,788 | △27.3 | 1,884 | △22.9 | 1,208 | △15.7 |
| 27年3月期第2四半期 | 20,871 | 9.3 | 2,461 | 69.0 | 2,443 | 62.8 | 1,433 | 76.7 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,142百万円 (△24.6%) 27年3月期第2四半期 1,515百万円 (57.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 10.36 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 12.29 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 48,971 | 25,272 | 51.6 |
| 27年3月期 | 48,677 | 24,830 | 51.0 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 25,272百万円 27年3月期 24,830百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 6.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 40,200 | △2.4 | 3,400 | △22.1 | 3,500 | △21.7 | 2,200 | △7.6 | 18.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 28年3月期2Q | 117,200,000 株 | 27年3月期 | 117,200,000 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 28年3月期2Q | 551,224 株 | 27年3月期 | 549,494 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 28年3月期2Q | 116,649,751 株 | 27年3月期2Q | 116,659,578 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景に企業収益の改善や設備投資の増加など、景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、個人消費は、一部インバウンド需要の盛り上がりが見られたものの、家計の節約志向が強まり、全般的には力強さに欠ける状況が続きました。加えて、中国およびアジア新興国の経済減速懸念や欧州経済の不安要素も生じており、先行きは不透明な状況となっています。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『邁進14-16』において重点事業と位置づけている研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業の3事業を中心に営業力、開発力、生産力の強化を進め、あわせて収益力向上のための構造改革に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,932百万円(前年同期比1,938百万円、9.3%の減収)で、営業利益は1,788百万円(前年同期比672百万円、27.3%の減益)、経常利益は1,884百万円(前年同期比558百万円、22.9%の減益)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,208百万円(前年同期比224百万円、15.7%の減益)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、液晶ガラス用途が回復し、シリコンウエハー用途が堅調に推移したものの、ハードディスク用途はパソコンの販売低迷により減少し、半導体デバイス用途(CMP)は中国スマホ市場の成長鈍化による半導体需要の減速を受け微減となりました。一般工業用途もユーザーの需要が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比1,034百万円(15.8%)減収の5,507百万円となり、営業利益は749百万円(35.8%)減益の1,344百万円となりました。

②化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、柳井工場では機能性材料を中心に安定生産を継続することができたものの、武生工場では一部医薬中間体のユーザーへの納入がずれ込みました。

この結果、売上高は前年同期比529百万円(11.5%)減収の4,083百万円、営業利益は25百万円(13.5%)増益の213百万円となりました。

③繊維事業

繊維事業は、インターネット、TVショッピングなど新規チャネルでの販売は拡大しましたが、量販店、百貨店では売上回復に至りませんでした。主力の定番商品の販売とOEM製品への取組みに注力するとともに、国内外のグループ内素材調達・生産機能を活用することで収益の改善に努めました。

この結果、売上高は前年同期比113百万円(1.5%)減収の7,205百万円、営業利益は27百万円(18.0%)増益の181百万円となりました。

④その他

アジアから中南米への輸出をメインとする貿易部門では、農業用機械の輸出が増加しましたが、自動車関連は車輻およびタイヤの輸出が減少しました。化成品部門は、新規用途として取り組んでいる医療機器用部品が拡大しました。精製部門は、原料となる廃液の減少が続きましたが、エネルギー費を中心に溶剤再生コストの削減に取り組みました。

この結果、売上高は前年同期比261百万円(10.9%)減収の2,135百万円となり、営業利益は22百万円(87.1%)増益の48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて126百万円減少の19,630百万円となりました。これは、たな卸資産は増加しましたが、法人税・配当金の支払などに伴い現金及び預金が減少したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて420百万円増加の29,341百万円となりました。これは、主として化学工業品事業における設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて293百万円増加の48,971百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて33百万円減少の14,953百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加しましたが、未払法人税等や未払消費税などが減少したことによります。固定負債は前連結会計年度末に比べて114百万円減少の8,745百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて148百万円減少の23,698百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて442百万円増加し、25,272百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が699百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が1,208百万円あったことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産の増加や法人税等の支払などがありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上などにより729百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として設備投資により、1,980百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払などがありましたが、借入による収入などにより、353百万円の収入となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて905百万円減少の2,333百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

化学工業品事業、繊維事業はほぼ予想どおりに推移しておりますが、主力の研磨材事業においては先行きの不透明感が増しているため、平成27年7月31日に公表した通期の業績予想を修正しております。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,239 | 2,357 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,652 | 9,872 |
| 商品及び製品 | 3,224 | 3,060 |
| 仕掛品 | 1,577 | 2,224 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,268 | 1,345 |
| その他 | 805 | 780 |
| 貸倒引当金 | △11 | △9 |
| 流動資産合計 | 19,756 | 19,630 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,990 | 5,284 |
| 土地 | 13,994 | 13,899 |
| その他(純額) | 6,810 | 7,134 |
| 有形固定資産合計 | 25,795 | 26,318 |
| 無形固定資産 | | |
| | 415 | 430 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,712 | 2,594 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 投資その他の資産合計 | 2,709 | 2,591 |
| 固定資産合計 | 28,920 | 29,341 |
| 資産合計 | 48,677 | 48,971 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年 3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年 9月30日) |
|---------------|--------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,751 | 5,038 |
| 電子記録債務 | 505 | 415 |
| 短期借入金 | 4,426 | 5,630 |
| 未払法人税等 | 1,038 | 465 |
| 賞与引当金 | 699 | 689 |
| 返品調整引当金 | 155 | 164 |
| 設備関係支払手形 | 667 | 715 |
| その他 | 2,743 | 1,831 |
| 流動負債合計 | 14,987 | 14,953 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 870 | 769 |
| 退職給付に係る負債 | 4,676 | 4,712 |
| 資産除去債務 | 215 | 217 |
| その他 | 3,096 | 3,045 |
| 固定負債合計 | 8,859 | 8,745 |
| 負債合計 | 23,846 | 23,698 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,673 | 6,673 |
| 資本剰余金 | 2,174 | 2,174 |
| 利益剰余金 | 12,752 | 13,317 |
| 自己株式 | △63 | △64 |
| 株主資本合計 | 21,536 | 22,100 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 748 | 680 |
| 繰延ヘッジ損益 | △6 | △6 |
| 土地再評価差額金 | 2,369 | 2,313 |
| 為替換算調整勘定 | 362 | 343 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △179 | △158 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,294 | 3,172 |
| 非支配株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 24,830 | 25,272 |
| 負債純資産合計 | 48,677 | 48,971 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|---------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 20,871 | 18,932 |
| 売上原価 | 13,812 | 12,535 |
| 売上総利益 | 7,058 | 6,396 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,597 | 4,607 |
| 営業利益 | 2,461 | 1,788 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 23 | 25 |
| 固定資産賃貸料 | 87 | 116 |
| その他 | 34 | 71 |
| 営業外収益合計 | 147 | 215 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 44 | 35 |
| 固定資産賃貸費用 | 39 | 32 |
| その他 | 81 | 51 |
| 営業外費用合計 | 165 | 120 |
| 経常利益 | 2,443 | 1,884 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 5 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 0 | 5 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 103 | 15 |
| 減損損失 | 76 | 38 |
| その他 | 38 | 0 |
| 特別損失合計 | 219 | 54 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,224 | 1,835 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 925 | 662 |
| 法人税等調整額 | △134 | △35 |
| 法人税等合計 | 791 | 626 |
| 四半期純利益 | 1,433 | 1,208 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,433 | 1,208 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 1,433 | 1,208 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 50 | △68 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △40 | △18 |
| 退職給付に係る調整額 | 73 | 21 |
| その他の包括利益合計 | 82 | △66 |
| 四半期包括利益 | 1,515 | 1,142 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,515 | 1,142 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △0 | 0 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,224 | 1,835 |
| 減価償却費 | 815 | 783 |
| のれん償却額 | 12 | 12 |
| 減損損失 | 76 | 38 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 1 | △0 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 30 | 64 |
| 受取利息及び受取配当金 | △25 | △27 |
| 支払利息 | 44 | 35 |
| 為替差損益(△は益) | 5 | 12 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △0 | — |
| 固定資産売却益 | △0 | △5 |
| 固定資産処分損 | 103 | 15 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △2,678 | △217 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △810 | △576 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,417 | 197 |
| その他 | 478 | △206 |
| 小計 | 1,696 | 1,961 |
| 利息及び配当金の受取額 | 25 | 27 |
| 利息の支払額 | △44 | △23 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 72 | △1,235 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,750 | 729 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,623 | △2,006 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 1 | 55 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △50 | △1 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △207 | △4 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 | — |
| その他 | △19 | △23 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,899 | △1,980 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 856 | 1,196 |
| 長期借入れによる収入 | 200 | 100 |
| 長期借入金の返済による支出 | △176 | △192 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △0 |
| 配当金の支払額 | △580 | △695 |
| リース債務の返済による支出 | △41 | △53 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 256 | 353 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △14 | △8 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 91 | △905 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,109 | 3,239 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,201 | 2,333 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------------|-------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 研磨材 事業 | 化学 工業品 事業 | 繊維事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,541 | 4,612 | 7,319 | 18,474 | 2,396 | 20,871 | — | 20,871 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5 | — | 0 | 5 | 0 | 6 | △6 | — |
| 計 | 6,547 | 4,612 | 7,320 | 18,480 | 2,397 | 20,877 | △6 | 20,871 |
| セグメント利益 | 2,094 | 187 | 153 | 2,435 | 26 | 2,461 | △0 | 2,461 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業及び精製事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産のうち、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について減損損失を認識しました。

なお、当該減損損失の計上は、当第2四半期連結累計期間においては76百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-----------|-----------------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 研磨材 事業 | 化学 工業品 事業 | 繊維事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,507 | 4,083 | 7,205 | 16,796 | 2,135 | 18,932 | — | 18,932 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5 | — | — | 5 | — | 5 | △5 | — |
| 計 | 5,512 | 4,083 | 7,205 | 16,801 | 2,135 | 18,937 | △5 | 18,932 |
| セグメント利益 | 1,344 | 213 | 181 | 1,739 | 48 | 1,787 | 1 | 1,788 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業及び精製事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。